



### 味坂の元気のシンボル

## 佐藤 真紀子さん

味坂校区協働のまちづくり協議会(以下、まち協)の副会長を務め、健康を守る母の会(以下、健母の会)で活躍中。地域では「まっこちゃん」と呼ばれています。人が集まるところにいつも居てくれ、温かいまなざしとハツラツとした声で、地域に元気を届けてくれます

# まちのつくりて note.1



これから進めるまちづくり条例の作成に合わせ、地域の担い手の皆さんと、まちづくりの今をインタビュー中心に、隔月で紹介します。

☎コミュニティ推進課コミュニティ推進係  
☎72-2111

## きっかけは友達作り

地域活動に関わったきっかけは、お友達を作りたかったからです。次女が生まれたばかりのタイミングで広島県から夫の実家がある小郡に移り住み、右も左もわからなかった私は、地域の人と知り合う機会を求めていました。PTAの役員を務めると、今も付き合いのあるお友達がたくさんできて嬉しかったです。今思うと、家を空けることの多い私を許してくれた家族にも感謝しています。

## 喜んでくれるから

地域活動に関わり続けてきたのは、多くの人が喜んでくれたからです。感謝の言葉や嬉しそうな表情が、私の暮らしを豊かにしてくれました。コロナ禍で会う機会が制限される今、改めてそう感じています。

## 自分が楽しんで

おせっかいな性格のおかげで、私自身いろんなことに巻き込まれてきました。が、「やるなら楽しく笑顔で」をモットーに関わってきました。まずは自分が楽しみ、笑顔で人に声を掛けると、新しい仲間を巻き込めて、輪が広がっていくと思っています。



## 暮らし続けたいまちに

味坂校区に住んでから、多くの人に助けられてきました。地域みんなで力を合わせると、お互いを支え合うことができます。これからも暮らしの困りごとはあると思いますが、この地域の温かい人のつながりがあれば、乗り越えていけると 생각합니다。

### 味坂校区協働のまちづくり協議会～買い物支援事業～



「買い物をする場所がないなら、みんなで作ろう」と地域主体でスタート。生鮮食品を積んで地域を巡回する「移動販売車 あじさか号」、ポピーの里あじさか館で農産物を直売する「あじっこ市場」を運営しています。買い物だけでなく、販売スタッフやお客さん同士の交流の場にもなっています。